

平成 2 5 年 第 2 回

京 田 辺 市 議 会 定 例 会
一 般 質 問 通 告 書

京 田 辺 市 議 会

平成25年第2回 京田辺市議会定例会 一般質問通告書目次

通告順位	議員名	ページ
1	水野恭子	1
2	上田毅	3
3	河田美穂	4
4	奥西伊佐男	6
5	青木綱次郎	7
6	南部登志子	8
7	塩貝建夫	10
8	増富理津子	11
9	次田典子	13
10	米澤修司	15
11	櫻井立志	17
12	岡本茂樹	19
13	小林喜代司	20
14	鈴木康夫	21
15	河本隆志	23
16	岡本亮一	24

1 「慰安婦」問題についての見解を問う

- (1) 「慰安婦」制度を「必要だった」と正当化した橋下発言に対する市長の考えを問う。
- (2) 戦後68年経過しても「慰安婦」問題が解決していないのは、どこに問題があると認識されているか。
- (3) 安倍首相の「侵略の定義は定まっていない」などの戦争認識について市長の考えを問う。
- (4) 市長として、橋下市長に対し妄言を撤回するよう求めるべきと思うがどうか。

2 府内で2番目に高い都市計画税の税率引下げをすべき

- (1) 都市計画税には減免措置がない。高齢者世帯など社会的弱者と言われる世帯は、資産を手放さねばならないほどきびしくなっている。市民のくらし応援のために、都市計画税の負担を軽減すべきと考えるが、その認識は。
- (2) 都市計画税は、市街化区域内で付加価値税的な性格をもっている。都市基盤整備もおおむね収束を迎えつつあると市長も答弁されている。ならば、早急に税率を引き下げよ。

3 障がい者問題

- (1) 障がい者のガソリンチケット利用について、ガソリンの取引価格の引下げと利用できる業者の拡大を。
- (2) 聴覚障がい児への補聴器購入費用の助成をすべきと考えるが、市の考えは。

4 京田辺市観光協会の案内所を近鉄新田辺駅前に設置すべき

水野 恭子

京田辺市の観光の窓口である観光案内所は、京田辺市の発展のためにも商工会館の中でなく、市の玄関口の近鉄新田辺駅前に設置すべき。

1 学校の諸問題について

- (1) いじめ問題について、現状を問う。
- (2) 生徒の不登校及び教師の長期欠勤問題について問う。
- (3) 京都府内において教師から生徒に対する体罰が明るみになったが、本市でも同様の問題があるのかを問う。

2 椋鳥について

一昨年、去年と椋鳥被害について取り上げているが、現在の対応策はどのように協議し進化したのかを問う。

3 近鉄興戸駅西側のまちづくりについて

- (1) 近鉄興戸駅西側整備基本計画策定に伴うワークショップの結果をどのように実現されるのか。また防賀川切下げ工事の状況及び完成時期を問う。
- (2) 興戸地区通学路のカラー塗装が施工されていないが、いつ頃になるのか。

1 安全・安心なまちづくりについて

- (1) 多種多様な消費者トラブル被害が増加している。それらを相談できる消費生活相談について市長の認識は。また、今後の方策はどのように考えているのか。
- (2) 気象庁の「緊急地震速報」を周知徹底させるとともに、学校や公共施設の施設内放送に連動させて、自動的に放送できるようにしてはどうか。

2 熱中症予防対策（全市民対象）について

- (1) 民生委員やホームヘルパーなどに依頼して、熱中症予防の呼びかけをしながら、「予防リーフレット」を訪問し配布してもらってはどうか。
- (2) 庁舎や公民館、公共施設などを利用し、日中猛暑時の避難場所（シェルター）を開設してはどうか。
- (3) 単身高齢者などに「予防グッズ」（クールスカーフ・保冷剤・熱中症計など）を配布してはどうか。

3 子育て支援について

- (1) 保育所に「育児休業明け入所予約制度」をつくるべき。
- (2) 保育所の保育時間の延長（トワイライト保育）や休日保育を実施すべき。
- (3) 子どもの急病時の小児救急電話相談「# 8 0 0 0」をホームページ・広報などで周知徹底すべき。

4 環境問題について

- (1) 節水対策のため、庁舎のトイレにトイレ用擬音装置を設置すべき。

河田 美穂

(2) 地球温暖化防止のため、「クールアースデー」の本市の25年度の取り組みは。また、周知徹底はどのようにするのか。

<p>1 安心安全のまちづくりについて</p>
<p>京都府暴力団排除条例を受けて、本市としての取組み状況と見解を問う。</p>
<p>2 高齢者向け施設等の建設に向けた進捗状況と、本市の「高齢者福祉計画」に沿った今後の取組み姿勢と見解を問う</p>
<p>(1) 新たに決定した「特別養護老人ホーム」を含めた本市「特養」全体の収容可能人数と待機人数に関して、今後の対応策について問う。</p> <p>(2) 国が建設を進めている「サービス付き高齢者住宅」が民間企業により建設中であるが、本市における現状と今後の関わり方についての見解を問う。</p>
<p>3 庁舎窓口サービスについて</p>
<p>(1) 職員研修の一環として実施されてきた職員による市民への窓口案内サービスは今後も継続していくのか。</p> <p>(2) 庁舎玄関口の案内板（タッチパネル）は現状では案内内容が部分的に見づらく感じる。改善すべきと考えるが。</p>
<p>4 地域の課題についてその進捗を問う</p>
<p>(1) 防賀川公園東側部分は買収後更地のままになっているが、完成に向けた計画は。また、どのような形態になるのか今後の進捗について問う。</p> <p>(2) 草内美泥排水路整備事業の今年度の計画と進捗状況について。</p>

1 子どもたちが身近に利用できる児童館の増設、充実を

子どもたちが身近に利用でき、安心して遊べる場所の確保は重要な課題となっている。

- (1) 小学校区単位で児童館を設置することを求める。
- (2) 松井山手地域から大住児童館を利用しやすいものとするために、松井ヶ丘幼稚園から同方面への遊歩道の整備を求める。

2 納税証明書添付手続きの簡略化を求める

- (1) 太陽光パネル設置補助金申請など、いくつかの市の施策では、申請する市民に納税証明書の添付を義務付けているものもある。該当するそれらの施策について、その簡略化を求める。
- (2) 他にも非課税証明書など、類似する添付書類や施策があるが、それらについても市民の利便性向上の観点から簡略化を進めるべきと考えるが、市の見解を問う。

3 J R 松井山手駅周辺の整備について

- (1) 障がい者送迎用一時駐車場の設置の進捗について。
- (2) J R 松井山手駅東側の一般車用ロータリー部分にベンチの設置を求める。

1 本市の将来像について

- (1) 第3次総合計画が目指す2020年の本市の人口予測と、先日厚生労働省が発表した2025年の予測人口とに約1万人の差がある。このことを市としてどう認識し、分析するのか。また、このことを踏まえた上で、将来人口をどのように予測し、まちづくり計画を進めていこうとするのか、市の見解を問う。
- (2) 今後、市の納税者人口がどのように変化していくと捉えているのか、市の認識を問う。

2 大規模な府営住宅田辺団地の住環境について

府営住宅田辺団地は、1棟から24棟までは築40年以上が経過し、老朽化が著しいだけでなく、バリアフリー等に対応した住宅にはなっていない。そこで、

- (1) 府営住宅の建替え、もしくは室内のバリアフリー化を進めるよう市として府に働きかけるべきと考えるが、市の見解は。
- (2) 多様な世代が暮らせる公営住宅となるよう府に要望すべき。

3 子育て支援について

- (1) 乳幼児健診時に保育ルームの設置を。
- (2) 乳幼児健診と母親の諸健診を同時に同じ場所では実施できないのか。
- (3) 各種子育てセミナー対象者は、第一子を子育て中の方が対象となっていることが多いが、第二子以後の子育て中でも受けられるようこの制限をはずすべきと考える。市の見解を問う。

4 大学のあるまちづくりについて

- (1) 同志社大学文系学部が移転したことに伴う具体的影響の詳細について問うとともに、今後の対策についてどのように取り組んでいくのか、市の覚悟を問う。
- (2) 大学とよりよい関係を構築するためにも、職員の相互派遣を進めることを提案する。

5 健康問題について

市としてアレルギー対策に取り組め。

1 憲法問題について

- (1) 憲法 96 条改定についての市長の認識を問う。
- (2) 憲法「第 8 章 地方自治」と「道州制」について市長の認識を問う。

2 平和の取組み推進について

- 平和市長会議に加盟して以降の平和の取組みについて問う。
- (1) 「核兵器禁止条約」の交渉開始等を求める市民署名活動について
 - (2) 4 年に 1 回の総会参加について (2013 年 8 月 3 日 ~ 6 日 広島市)
 - (3) その他、今後の活動予定は

1 生活保護基準引下げの影響から子どもを守る施策を

生活保護世帯の子どもは全国で約30万人といわれているが、今回の引下げで、特に子育て世帯が大きな影響を受け、生活保護を受けられなくなる世帯が出てくる。また、基準が下がることで、親の収入は変わらなくても就学援助を受けられなくなる子どもが増える。子どもの貧困問題は一層深刻になる。

- (1) 生活保護基準の引下げが子どもの貧困に大きな影響を与える問題について、市長の認識を問う。
- (2) 子どもの貧困をさらに拡大する生活保護基準の引下げに反対の声を。
- (3) 本市における子どもへの影響の実態は。
- (4) 本市の就学援助準保護基準の引上げを。

2 学校給食こそ「食教育」 安全でおいしい中学校給食の実施を

全国の公立中学校で82.4%が完全給食を実施している。「昼食提供事業」が「中学校給食を実施して欲しい」という請願の主旨に応えたものなのか。学校給食こそ「食教育」であるという視点での取組みが必要である。また、学校給食を地産地消など地域経済への観点からも見ていく必要がある。学校給食が果たす役割と教育の一環である学校給食のあり方について、市の考えを問う。

3 近鉄新田辺駅東側地域の整備と活性化について

- (1) 住宅街に接した商店街を持つ地域であるだけに、歩いて暮らせるまちづくり(ライフ・エリア構想)への取組みが必要であると考え、市の考えを問う。
- (2) 安心、安全な道路や環境づくりへバリアフリー基本構想に沿って取組

増富 理津子

みが始まっているが、地権者、商店主の意見に加え、利用者の意見も反映させられる取組みを。

(3) 「空き店舗や店舗前スペースの活用」方法などにも市民ニーズを把握した支援を。

1 平和憲法を守る意義について市長に問う

- (1) 安倍内閣発足後、急激に改憲論が進んでいる。現憲法に対する市長の考えを表明せよ。
- (2) 96条の改悪は日本平和を失うものと考えますが、市長はどのように考えているのか。
- (3) 男女平等が明記されているが市長の見解はどうか。
- (4) 学校教育においてももっと憲法について教えるべきだ。

2 脱原発を実現するために

安倍内閣は、原発を再稼働させようとしている。脱原発を目指し実現することしか、人類のみならず、あらゆる生命・環境を守ることはできない。

市長は、今後において、具体的にどのように脱原発への取組みを進めるのか。

3 教育委員会改革について

- (1) 教育委員会の存在意義をどのように考えているのか。
- (2) 大津市教育委員会が、今年3月に大津市長へ提出した「大津市いじめ自殺事件検証報告書」をどのように考えるのか。
- (3) 会議を積極的に公開すべき。
- (4) 事務局体制のあり方について。

4 諸問題

- (1) JR大住駅周辺の治安と環境について。
- (2) 健康ヶ丘の関屋長尾線の通学路の改善を急ぐべきだ。

次田 典子

(3) 馬坂川周辺（新田辺東住宅）の治安対策を急いで欲しい。

1 この夏の市役所・市の公共施設等での節電対策を問う

- (1) 関西電力の電気料金値上げの影響と対策を問う(市庁舎の場合)。
- (2) 今年度の節電目標と具体的な節電対策を問う。
- (3) 電力会社(関西電力)の電気だけに依存しないエネルギー源の多様な活用について市の考えを問う。
(例 発電事業者、太陽光(熱)、コージェネレーション、ガス・木材等のバイオなど)

2 子育て支援策を問う

- (1) 市立幼稚園での預かり保育の拡充と活性化策を急ぐべきではないかと思うが、市の考えを問う
- (2) 今後の保育需要についての市の認識(今後の需要の見込み)と、これからの施策について市の考えを問う。

3 超過勤務の具体的な縮減策を問う

- (1) 今年度の超過勤務の縮減目標を問う。
- (2) 縮減目標を達成するための具体的な取組みを問う。

4 廃棄物処理施設等の今後を問う

- (1) ごみ焼却施設の広域化について市の現在の取組み状況を問う。
- (2) し尿処理施設を廃止し洛南浄化センターでの受入れ施設の整備を府に求め、し尿を直接下水道に投入すべきと思うが、市の考えは。
- (3) 埋立て処分地の活用策(埋立て可能年数、遮水シートの耐用年数等含めて)を問う。

米澤 修司

(4) 打田、高船、天王の農業集落排水処理施設の今後の整備計画を問う。

1 がん予防とがん検診事業の推進について

- (1) 胃がん予防に効果のあるピロリ菌検査を胃がん検診の項目に入れ、検査費用の助成を行う考えは。
- (2) 本市のがん検診事業に男性特有の前立腺がん検診の早期実施を求めるが、市の考えは。
- (3) がん検診登録制度の導入により、受診率向上を図る考えは。

2 安心・安全の高齢者施策について

- (1) 独居高齢者などへ救急搬送での素早い適切な処置に役立つ「命のカプセル」の無料配布サービス実施を求めるが、市の考えは。
- (2) 来年夏に市内4番目の「特別養護老人ホーム」の設置が発表されたが、その概要と市としての取組みと対応は。

3 教育環境の整備と子どもの安全について

- (1) 中央図書館の雑誌スポンサー制度の導入について、市の考えは。
- (2) 給食における食物アレルギー対策について、市の考えは。

4 自転車の走行環境の整備について

- (1) 自転車通行環境ネットワーク計画策定の進捗状況は。
- (2) 自転車による人身事故が増加している。自転車損害保険等の加入促進を図ってはどうか。
- (3) 三山木駅前の駐輪場をステーションとして、自転車・電動自転車のレンタル制度を実施し、自動車から環境にやさしい移動手段としての自転車の普及促進を図ってはどうか。

櫻井 立志

(4) 自転車の安全な利用を促進するための条例を制定してはどうか。

1 同志社大学との協働によるまちづくりについて

- (1) 平成25年4月1日現在、京田辺校地における同志社大学、同志社女子大学等の学生数の現状はどうか。
- (2) 学生数減少に伴う地域に与える影響についてどのように考えるか。
- (3) 大学とのここ2年間の具体的な協議状況は。
- (4) 市としての具体的な新しい対応策はどうか(大学、女子大学との連携など。5月2日の経営会議や24日の学校法人との懇談会結果を踏まえて)。

2 京都府が平成15年に行政代執行を実施した、大住地内「放置硫酸ピッチ」撤去後の管理状況について

- (1) 本事件に関する概要とその後の同地の管理状況について具体的に述べられたい。
- (2) 周辺事業所、周辺道路(市道)、側溝の現在の管理状況はどうか。

3 地域自主防災組織の設置運営状況について

- (1) 本市において予想される大災害について述べられたい。
- (2) 地域自主防災組織の効用と現時点における立上げ状況は。
- (3) 未組織地域への具体的な設置に向けた働きかけはどのように行っているか。また、市としての設置目標と支援の中身は。
- (4) 地域自主防災組織の日常的な活動のうち、特に成果をあげている先進的な取組みについて、さらに広める方策は。

1 府道八幡木津線の交通安全対策について

薪一休寺道から興戸地区のＪＲ同志社前駅間の交通安全対策への要望は多くの市民の方をはじめ、通学、通園の保護者からも多く出ている。

薪茶屋前交差点の改良工事の見通しはどの程度まで進んでいるのか。また、この区間の交通安全対策について、市の考えは。

2 小学校のトイレ整備について

市内の各小学校のトイレ整備については、多くの生徒や保護者の強い要望によって順次進める方針であるが、非常に遅い。掃除でカバーできるような状況ではない、という声が多く出ているが、市の考えは。

3 学校給食の地産地消の推進について

学校給食に地場産の食材を利用する地産地消の取組みについて、現在の状況と今後の拡大見通しについて。

4 同志社大学文系学部の今出川キャンパス移転後のＪＲ、近鉄に対するダイヤ改正要望について

同志社大学文系学部移転に伴う乗客数の減少については、来年３月のダイヤ改正に向けて、ＪＲ、近鉄ともに実態を調査中と聞いている。現在の運行本数に減少が生じないようにＪＲや近鉄と話し合いを進める必要があるが、市の考えは。

1 輝く京田辺の教育のために

- (1) 中学校昼食等検討委員会より、「注文弁当方式」の提言が出された。その実現に向けてのロードマップを問う。
- (2) 前回の反省も踏まえ、4年ぶりに全員参加で実施された「全国学力テスト」の活用を問う。
- (3) 中長期的な地域別の児童数予測を踏まえての「通学区域編成」を問う。

2 提案型の「攻めの交通政策」に期待する

今年度より、建設部に「交通対策部門」が移管された。従来のような問題発生そしてその対策という「待ち」から、提案型の「攻めの交通政策」に期待する。

- (1) JR松井山手駅周辺の渋滞解消策の一つとしての「バイパス道路」(京阪が商業施設住民説明会で言及)の進捗を問う。
- (2) 市民から支持されている「直Qバス」の利用拡大、同志社キャンパスへの延伸(大阪国際大学は実施済み)は考えられないか。
- (3) 自転車ネットワーク構想の実現の時期と完成図を問う。

宇治市のように条例を制定し、しっかりと裏打ちをすることを考えてはどうか。

- (4) 八幡市飛地の接続道路として、第三の道「Xルート」の提案、枚方方面へのUターン、バリカーの遠隔操作(緊急自動車通行時のみ車両通行可)など考えられないか。

3 高騰する「電気」にどう対峙していくか

電気料金が、4月から事業者向け、5月から家庭用と相次いで値上げされた。「原発稼働」が不透明の中、再値上げも予想される。

鈴木 康夫

- (1) 今回の値上げによる本市の負担増を問う（市庁舎の場合）。
- (2) 本市事業者の実態把握（影響の度合い等）と対策を問う。
- (3) 関西電力以外の特定規模電気事業者（PPS）からの電気購入状況と今後の取組みを問う。

4 路上喫煙禁止に向けて

松井山手に通勤する複数市民から、迷惑防止の観点から路上喫煙を禁止するよう切望された。京都市のように、一定のゾーン（駅周辺）を設け「路上喫煙を禁止する」ことを考えてはどうか。

1 子育て施策について

- (1) 妊娠中であることを周囲に伝えるマタニティマークの啓発や、また市独自でも認識を広げていくための施策は考えているのか。
- (2) おむつ替え、授乳スペース、子どもトイレ等の機能を備えた場所を認識できるような、赤ちゃんの駅を含む施策を進めていく考えは。
- (3) 結婚後、出産後に健康診断を受けられていない方に対して、ママ(女性)健康診断を実施していく考えは。

2 災害時の対応策について

- (1) 災害時の帰宅困難者対策を問う。
- (2) 職員の災害対応について問う。
- (3) 教育機関の対応、子ども保護、連絡体制について問う。

3 地域内で雇用を作り出し、地域経済を活性化させるためにも地域の問題を地域で解決するというソーシャルビジネス、コミュニティビジネスを推進する仕組みづくりが必要と考えるが、市の見解は

4 子どもの遊び場環境について問う

1 住宅リフォーム助成制度について

住環境の向上及び建設業などの仕事おこしと経済波及効果を図るため、住宅の増改築やリフォーム工事を行う市民に対し補助する住宅リフォーム助成制度を実施すべきと考えるがどうか。

2 住宅エコリフォーム助成制度について

地球温暖化対策の推進及び経済活性化を図るために、省エネ改修を行う市民に対して、その一部を補助する住宅エコリフォーム助成制度を創設すべきと考えるがどうか。

3 留守家庭児童会について

(1) 三山木小学校区では児童数が急増している。今年度初めて留守家庭児童会申込者数が、定員40名を超える受入れとなった。

来年度は、さらに児童が増え、現状のままでは希望者全員の受入れはできない。保護者にとって安心して働け、子どもたちが楽しく安全に過ごせるよう、早急に三山木小の空き教室など利用し、対策を講じるべきと考えるがどうか。

(2) 指導員の仕事は、多くの子どもの成長に直接かかわる。指導員は保護者や児童への的確な対応が求められており、情報の共有と人材の育成、自己研鑽を深め、専門性を高めなければならない。そのためには、指導員の充実した研修が必要である。

ア 指導員の役割と任務及び情報の共有について問う。

イ 指導員の研修内容について問う。